

549-275



1200501507393

549

275

楓園叢書之

岩手県金石志

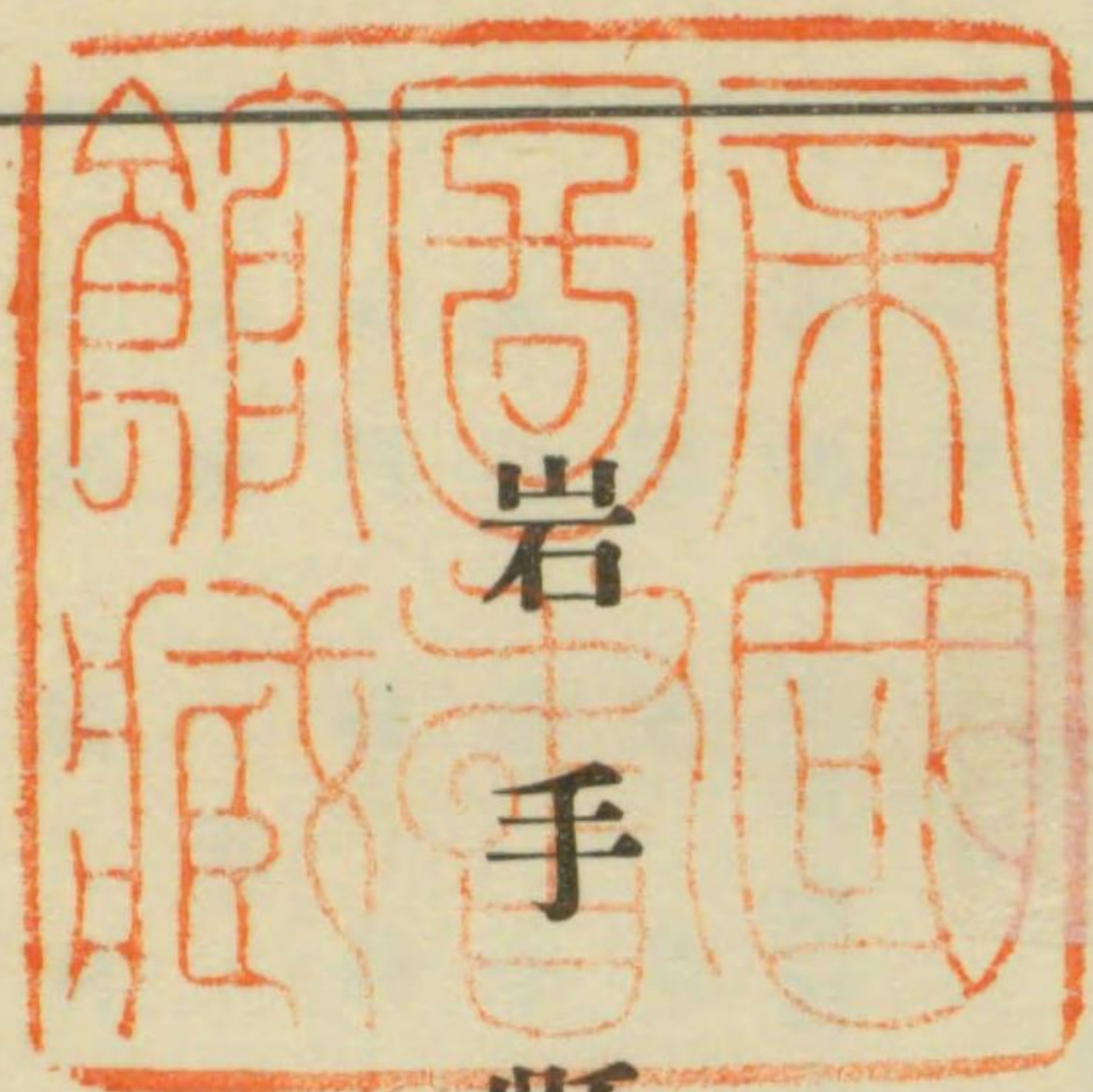
国立国会図書館

271

斗7D25

549  
275

岩手縣金石志



金手岩  
縣志



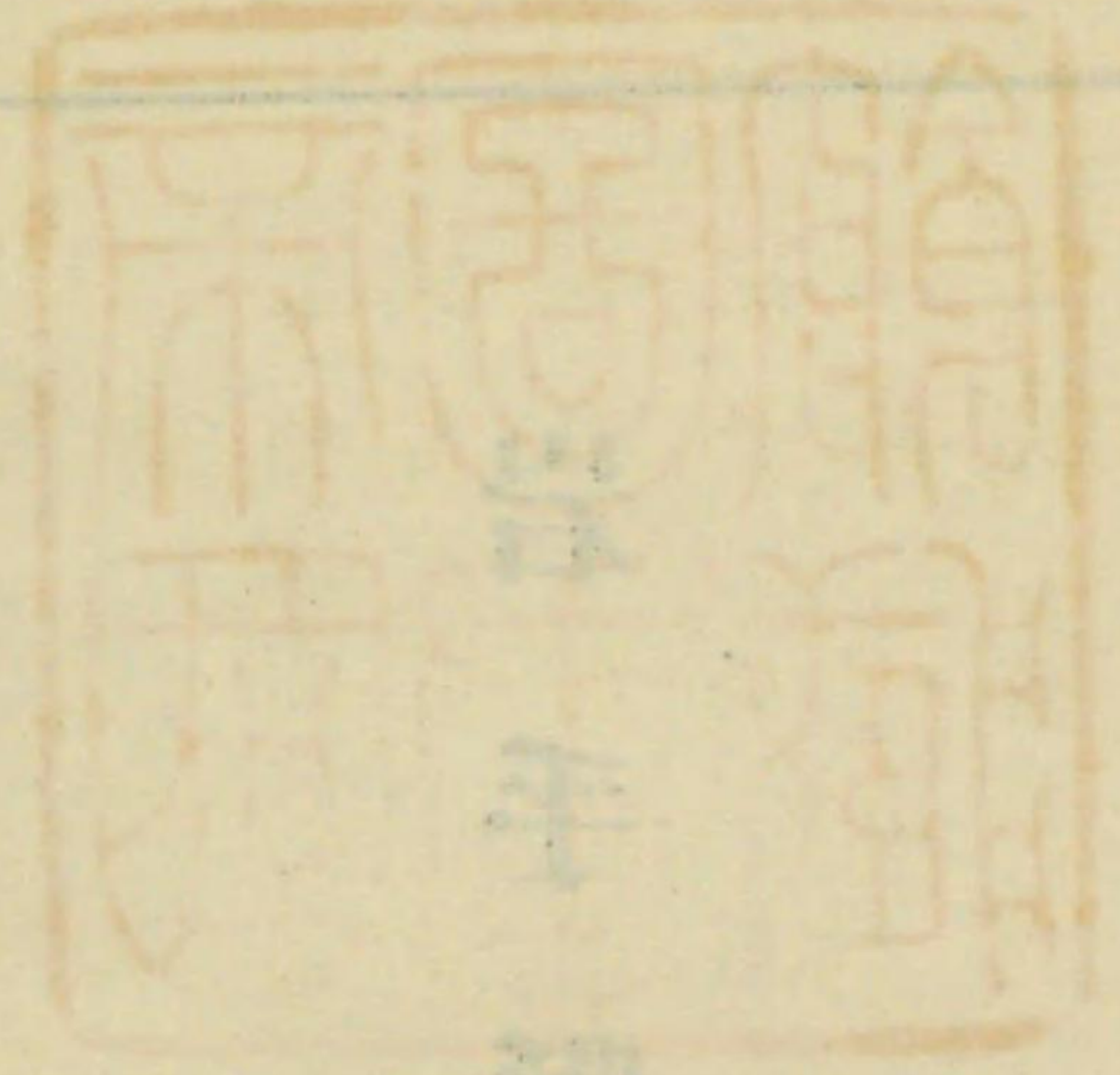
549-275

岩手縣金石志目次

一	金色堂地棟銘	天治元
二	朝鮮鐘	大和六
三	阿彌陀佛像躰內銘	建保
四	圓隆寺鐘	貞應三
五	毛越寺磬	建長二
六	門崎村碑	建長八
七	鐵五輪	文永五
八	赤崎村碑	建治三
九	赤崎村碑	弘安元
〇	白山神社假面	正應四
二	赤崎村碑	正應六

目次

七 六 六 六 四 四 三 二 二 一 一



岩手縣金石志



三	三	三	三	三	元	六	七	六	五	四	三	三
赤	猪	上	船	萩	染	岩	門	中	越	門	越	赤
崎	川	有	越	莊	黑	谷	崎	尊	喜	崎	喜	崎
村	村	住	村	村	寺	堂	村	寺	來	村	來	村
碑	碑	村	碑	碑	碑	碑	碑	札	碑	碑	碑	碑
文保二	文保元	正和四	正和四	正和三	正和二	延慶四	德治三	嘉元二	正安二	永仁四	永仁三	永仁二

一一二 一一二 一一三 一一一 一一一 一一〇 一一〇 九 八 八 八 七

七	六	五	四	三	三	三	三	元	六	七	六	五
赤	薄	日	湯	赤	老	上	愛	老	五	黄	薄	猪
崎	衣	森	口	澤	松	有	宕	松	郎	海	衣	川
村	村	神社	村	村	村	住	村	村	沼	村	村	村
碑	碑	鉢	碑	碑	碑	崖	碑	碑	碑	碑	碑	碑
建武元	建武元	元弘四	正慶元	嘉曆四	嘉曆二	嘉曆元	嘉曆元	正中二	元享三	元享三	元享二	文保二

一一三 一一三 一一三 一一四 一一四 一一五 一一五 一一五 一一四 一一四 一一三 一一三 一一三







九〇	日形村碑	明三	四二
九一	黑崎神社懸佛	明應五	四三
九二	日形村碑	明應七	四四
九三	妙見神社棟札	明應七	四五
九四	日形村殘碑	明應一〇	四六
九五	權現堂棟札	永正五	四六
九六	常膳寺鰐口	永正一〇	四七
九七	中尊寺順禮札	永正一三	四八
九八	東禪寺釋迦像銘	永正一四	四八
九九	日形村碑	永正一七	四九
一〇〇	妙見神社棟札	大永四	四九
一〇一	日形村碑	大永五	五一
一〇二	大長壽院巡禮札	大永五	五一

一〇三	毘沙門堂順禮札	大永七	五一
一〇四	五日市文殊順禮札	享祿五	五二
一〇五	中尊寺順禮札	天文四	五二
一〇六	羽黑山神社棟札	天文八	五二
一〇七	黑森神社棟札	天文一〇	五三
一〇八	瑠璃光院順禮札	天文一一	五四
一〇九	寶珠院順禮札	天文一一	五五
一一〇	熊野堂鐘	天文二〇	五五
一一一	新山神社棟札	天文二三	五六
一一二	月山神社棟札	永祿二	五七
一一三	中尊寺順禮札	永祿三	五八
一一四	中尊寺蒔繪繪馬	永祿七	五八
一一五	中尊寺蒔繪獅子小宮銘	永祿七	五八

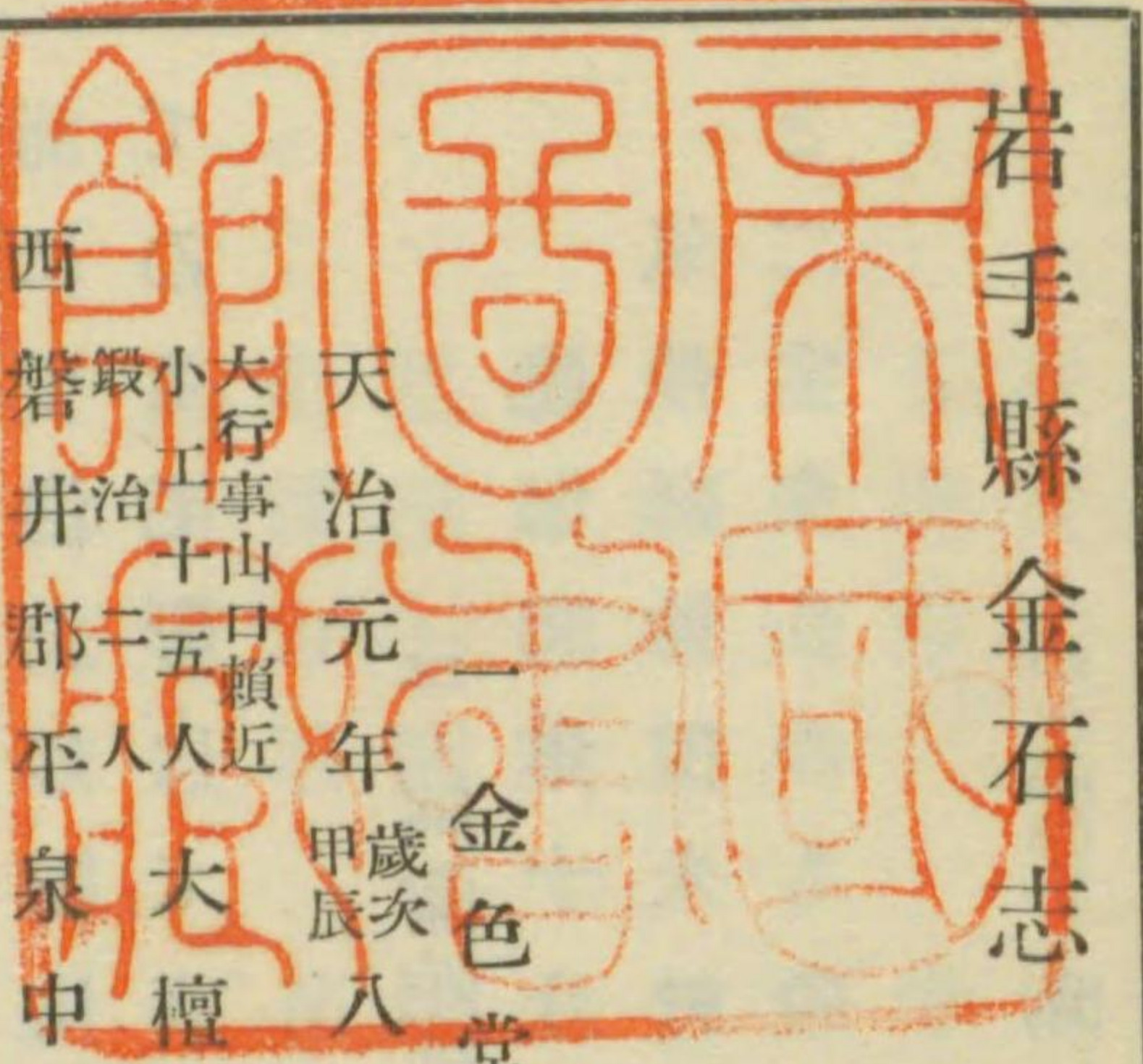
二六	八幡神社胡籙	永祿一	五九
二七	權現堂棟札	元龜二	五九
二八	神山神社棟札	天正五	六一
二九	白山村碑	天正六	六一
三〇	月山神社棟札	天正六	六二
三一	妙見神社棟札	天正六	六三
三二	山谷觀音經筒	天正二	六四
三三	真仙巡禮札	天正四	六四
三四	志和稻荷神社棟札	天正一六	六五
三五	矢作觀音寺繪馬	慶長七	六六
三六	天台臺寺鐵鉢	慶長八	六六
三七	矢作村碑	慶長二	六七
三八	盛岡上ノ橋擬寶珠銘	慶長四	六七

三九	盛岡下ノ橋擬寶珠銘	慶長一六	六八
四〇	黃海村碑	慶長一七	六九
四一	教淨寺棟札	慶長一七	七〇
四二	中尊寺順禮札	慶長一七	七〇
四三	諏訪神社鰐口	慶長一八	七一
四四	白山神社棟札	慶長二〇	七一

岩手縣金石志

楓園叢書

太田孝太郎編



金色堂地棟銘

天治元年歲次甲辰八月廿日子甲建立堂一字長一丈七尺廣一丈七尺大工物部清國

大行事山日嶺近小工十五人檀散位藤原清衡女檀安部氏清原氏記されてある。地棟總長

八尺九寸五分、成四寸四分、下短四寸八分。

合掌外一二個所に「はいし又一郎」衣かははいし又一郎□綱  
「はいし又一郎かくれなき弓上手也」など雄勁な寫經風な文字  
で記してある。日頃の念願が叶つて昭和五年十月廿八日、親し  
く見ることが出来た。

二朝 鮮 鐘

岩手縣金石志

大中大夫興威衛大將軍知上部事大□□贊善大夫賜紫金  
 魚袋□□□曜珎及妻上黨郡夫人韓氏同心發意特鑄金鐘  
 入重漆拾伍斤懸於□□□郡善慶院以□功德者大和六年  
 丙寅正月日謹記  
 南部伯爵家に藏されてゐる。高一尺五寸五分、徑一尺三寸、口  
 徑厚一寸、旗挿四寸、文字あるところ長三寸四分、横二寸八分、寶  
 相華紋、雄麗を極めて居る。元祿十五年三月十日、下閉伊郡釜石  
 浦にて漁夫の網に掛りしよし「續奥南盛風記」その他に記され  
 てゐる。毛彫にて磨泐して讀めぬ字が多い。

三 阿彌陀佛像牀內銘

建保□年十月十日

氣仙郡世田米村光勝寺。文字墨書、花押風のもの。一字のもの  
 と二字やうのもの。と記されて居る。

四 圓隆寺鐘

左青龍東河流右白虎西有大澤前朱雀前有北森後玄武後  
 有山巖寺名圓隆建奥州中白虎走西青龍翔東  
 玄武遍列朱雀方沖天春相役地德三充故招魯匠  
 更課殿工修補致信造營盡功虞倅調寶晉曠綆鋼  
 瓊鐘輝眼金殿呈夢九乳潤地雙龍騰空甘露無盡  
 恩澤不窮妙聲新舉梵響忽通遙混夕吹遠韻晨風  
 染徹方壤高揚圓穹主上成願臣下竭忠君家惟穩  
 民屋皆豐息八獄熱諸大梵宮退還賈客嬉戲幼童  
 苦忘想睡成正覺躬貞應三年歲次甲申三月鑄師大和法安兩  
 寺別當權少僧都良信兩寺別當二位禪師良禪大法師奉行  
 宗圓  
 西磐井郡平泉舊趾は今の常行堂の右にあつた。銘文は「平泉  
 志」に出て居る。

五 毛越寺磬

奉施入毛越寺千手堂建長二年大才庚戌



が交錯した古色掬すべきものであつた。

八 赤崎村碑

建治三年十月下 氣仙郡赤崎村小田各蓮座の上にキリク・サ・サクの梵字が見え、左の方に小く年號が刻まれてゐる。高五尺、巾二尺斗、厚一尺二三寸。水成岩。

九 赤崎村碑

弘安元年戊六月十二日 氣仙郡赤崎村小田。高五尺五寸、巾二尺三寸、上にかすかにキリク・サ・サクの梵字がある。水成岩。

一〇 白山神社假面

正應四年三月十四日別當了禪 西磐井郡平泉村中尊寺。了禪の了は芳の字のやうに見える。

面のうらの上部に横に二行に刻まれてゐる。左の方にある「若女面」とあるは後刻と思はれる。集古十種に著録してある。

二 赤崎村碑

正應六年二月十六日敬白 氣仙郡赤崎村山口。長四尺五寸、巾一尺六七寸、厚五六寸。上にアンの梵字が雄勁に刻まれてゐる。大さ一尺一寸五分、正應より西念まで一尺九寸四分、地上に倒れてゐる。水成岩。

三 赤崎村碑

一 永仁二年上旬 二 願以此功德普及於一切我等與衆生皆共成佛道永仁二年氣仙郡赤崎村。一は正應六年碑のある小山にあり、同じく倒れてゐる。上にキリクの梵字、丈四尺八寸、二年の下、石剝げて見えない。巾一尺四寸。二は上にキリク・サ・サクの梵字、地上六尺、巾中程九寸より一尺一寸、上一尺三寸、下一尺四寸、規則たつて仕

上げてゐる。土沙を洗ひ落して、はじめて永仁の年號を見ることを得た。等は俗體の字を用ひてゐる。

三 越喜來村碑

永仁三年二月六日

氣仙郡越喜來村。上にキリク・サク・サク、その下に蓮座一つ。高五尺、巾一尺七寸より一尺八寸、厚八寸。

四 門崎村碑

永仁二年十月廿九日法主敬白

東磐井郡門崎村最明寺。上に「法主」敬白の四字は二丈で見れば疑はしいやうにも見える。「法主」敬白の四字は二字つゞ「廿九日」の左右にある。文字二尺、梵字の大きさ一尺六寸八分。

五 越喜來村碑

正安二年二月廿六日  
氣仙郡越喜來村新山神社境内。高二尺四寸、厚七寸、自然石の花崗石。上に「ン」の一字。文字肥穢、黒澤尻染黒寺の碑に逼肖してゐる。

六 中尊寺棟札

依征夷將軍家之仰

當堂別當法橋上人位辨賢

鳥羽禪定法皇御願關山中尊寺

當寺別當權大僧都法印實助

奉修理御經藏一字

奉行權別當兼學頭阿闍梨行盛

嘉元貳年三月十四日大工右兵衛尉藤原定守

音頭	藤原景守	藤原末清	藤原吉清	藤原末支	仲原正道	小工
	有	悉	奧	家	正	道
	鍛	冶	□	□		

西磐井郡平泉。長三尺九寸七分、巾上六寸五分、下六寸六分、厚一寸。ほかに「正應元年」の「寫し棟札」がある。

七 門崎村碑

德治三年<sub>申戊</sub>三月十八日

東磐井郡門崎村最明寺。上にキリク・サ・サクの梵字。高六尺、巾一尺二寸より一尺八寸五分、厚、あつきところ六寸三分。

六 岩谷堂碑

右志者为女方父母也

(右側)

右志者为父母聖靈兼又法界衆生故也延慶二年六月十五日

(正面)

右志者四郎三郎父母为也

(左側)

江刺郡岩谷堂町舊城趾。高四尺七寸、正面巾一尺五寸、右側巾九寸四分、左側七寸四分、文字の上に、いづれも「ン」の梵字、「慶」別體の字を用ひてゐる。雄勁な文字、さながら、山名村碑の風があ

る。

五 染黒寺碑

正和二年<sub>癸丑</sub>七月<sub>二</sub>右志者为□□□□□□□□

和賀郡黒澤尻染黒寺門内左側にある。上に「ン」の梵字。高二尺一寸、巾一尺九寸。自然石。

三 萩莊村碑

正和三年九月日敬白

西磐井郡萩莊村下黒澤江川秋葉山。高三尺七寸。自然石。上の梵字は磨泐して見えない。

三 船越村碑

正和三年四月二日<sub>又?</sub>又三郎□□

下閉伊郡船越村海藏寺。高三尺四寸、巾七寸、厚約三寸。粘板岩。上の梵字はサ。



三 上有住村碑

右志者□成佛爲也正和四年十月廿一日

氣仙郡上有住村根岸。自然石、高二尺九寸、巾一尺五分、厚三寸五分。上の梵字は「ン」年號は一行「廿二日」は月の左右に「右志者」は四字づゝ右と左に刻されてゐる。もと山手にあつたもので、今は上有住十文字といふところより五六丁、吉田退藏といふ七十六才の老人の家に入る路傍に立てられてゐる。昭和六年八月廿七日嘉曆摩崖探訪の副産收獲であつた。

三 猪川村碑

文保元年<sub>巳丁</sub>十月廿三日

氣仙郡猪川村善藏屋敷。高五尺五寸、巾一尺、厚五寸。上に「ン」カの梵字。文字一尺五寸。粘板岩。

四 赤崎村碑

文保二年<sub>午戊</sub>五月二日  
氣仙郡赤崎村中井小田。高一丈余、巾一尺一寸より二尺、地上に近く文字あり、文字一尺三寸八分。水成岩。

五 猪川村碑

文保二年<sub>午戊</sub>七月十三日

氣仙郡猪川村善藏屋敷。高五尺五寸、巾一尺。梵字は「ウン」。

六 薄衣村碑

元亨貳年<sub>戌壬</sub>十月六日

東磐井郡薄衣村米倉館西南麓、米倉勘右衛門氏所有地内。高二尺七寸五分、巾八寸。梵字は「キリク」。

七 黄海村碑

元享三年大歳□月四日

東磐井郡黄海村字中山鍛冶屋敷。高四尺八寸。上の梵字は「キ」

リク・サ・サク。左右兩側とも「ン」の一字。

元五郎沼碑

元享三年□月日

紫波郡赤石村五郎沼。高五尺三寸、巾四尺五寸。上四分の三には何も無いが、梵字でもあつたものゝやうに見える。この邊に文字ないもの三つと、年號なきも「若有云々八行の上に梵字五つ圓形の中にあるものが見える。五郎沼は比爪五郎俊衡と關係あり、俊衡の事は「吾妻鏡」にも出で居る。詳細は史蹟名勝天然記念物調査報告 大正十二年に記されてゐる。

元老松村碑

正中二年六月廿日敬白

西磐井郡老松村元峠ノ内宮澤。高四尺五寸、巾左右とも一尺五六寸、明治二十三年九月この邊より高一尺一寸八分、口徑三

寸八分、底直徑四寸の壺發掘されたよしで、中には五銖錢一枚、厚一寸斗、廣九寸斗の山石が蓋してあつたよしである。上にキリクの一文字。年號の左右に八字つゝの梵字は磨滅してよめない。年號ある六枚のほか、「道清」「道遍禪門」「妙全」など多數の殘片が荆棘の中に散亂してすてられてゐる。

愛宕村碑

法阿禪門成佛得道乃至法界平等利益嘉曆元年七月中旬相當三十五

江刺郡愛宕村光明寺屋敷。高四尺三寸、上半は各蓮座の上にキリク・サ・サクの三字。外に「願以此功德普及於一切我等與衆生皆共成佛道」右爲妙法禪尼須證并三行無年號の一基がある。

三上有住摩崖

嘉曆元年十二月

氣仙郡上有住村。昭和五年七月十三日、斷崖を攀ぢ荆榛を闢

いて縦恣奇逸の文字に驚された。梵字はキリク、左はアのやうに見ゆるも、サクかもしれない。右下はサがあるべきはずだが、見つけかねた。仙臺封内風土記や氣仙風土草にも全文がないし、また大才の左に丙寅とあるべきやうに思はれるが大才の二字より漫漶してよめない。

三 老松村碑

嘉曆二年七月九日

西磐井郡老松村元味ノ内宮澤この残碑は今亡い。僅に菅敬愛氏の記録に留めたに過ぎない。

三 赤澤村碑

如我昔所願今者已満足化一切衆生皆令入佛道嘉曆四年

紫波郡赤澤村赤澤高八尺四寸、巾二尺六寸、厚一尺ばかり、自然石。梵字は不明だがキリク・サク・サクであらう。化は仁と見える

も化字であるらしく思ふ。供とあるは大正十二年度史蹟名勝天然記念物調査報告 いかゞであらうか。願皆別體を用ひてゐる。

三 湯口村碑

右志者为過去行蓮聖靈滅佛得道兼又乃至法界衆生平等

利益故也正慶元年十月廿五日施主敬白  
稗貫郡湯口村膝立字觀音山八坂神社境内高四尺一寸五分、巾一尺九寸三分、厚八寸より九寸二分。梵字は蓮座の上に「右志者」四行、年號は真中に「靈衆」等別體の字を用ひてゐる。

三 日形村碑

元弘三年三月廿七日

西磐井郡日形村千葉秀三郎氏宅地内。長三尺、巾一尺一二寸。梵字はカ一字。

三 黒森神社鉢

當山黒森建武元年八月廿日道德敬白  
 下閉伊郡山口村黒森神社にもと藏されてあつたが、今所在  
 を知らない。南部伯爵家藏本盛藩紀事に黒森神社鐘と共に、拓  
 本が張りつけてある。山田町役場記録に直径一尺四寸五分、高  
 七寸四分とあり、篤焉家訓には、底九寸二分とある。矢戌と見え  
 るが甲戌のあやまりであらう。  
 文字は外部半面にあり、陽鑄、左文、左より右に六行。撲茂古隸  
 の趣がある。

三 赤崎村碑

建武元年五月廿二日  
 氣仙郡赤崎村山口高三尺六寸、巾一尺九寸五分、厚六寸。梵字  
 はキリク一字、九寸あまり、文字一尺三寸。

三 楸ヶ崎碑

曆應三七月十五

下閉伊郡楸ヶ崎小學校、同校裏山より土崩れて出たよし。高  
 四尺二寸、巾二尺一寸、厚七寸の自然石。梵字はグンの一字。文字  
 は染黒寺の正和碑の風がある。七月十五は三の左右にある。

三 中尊寺鐘

仰考平泉中尊寺草創歲序長治二年春藤原清衡忝賜堀河  
 鳥羽勅詔靈場也爰建武四年回祿成阿闍壞埵賴榮勵推鐘  
 利生志于茲銘  
 關山曉鐘覺無明眠驚嶺晚嵐拂煩惱塵摧伏魑魅感降靈仙  
 悉極六道下達九泉  
 鈞輪輟苦鯨音無邊普配聖賢四化父母利物心堅鑄施金錢  
 銘加鏤字永不朽傳  
 康永貳年癸未七月日鑄師散位藤原助信願主權律師賴榮大  
 檀那左近將監平親家大檀那當國大將沙彌義慶  
 西磐井郡平泉村高四尺一寸、口徑二尺八寸三分、厚二寸八分、  
 笠下三尺七寸七分、池ノ間高一尺二寸、巾一尺六寸、文字雄渾、神

護寺鐘を見るやうである。龍頭はかけて居る。  
「奥羽觀跡聞老志」仙臺金石志「封内名蹟志」や傳雲龍の「日本金  
石志」にも著録されてゐる。

四〇 老松村殘碑

康永四

西磐井郡老松村宮ノ澤。長一尺ばかり、厚二寸の板碑。

四一 日形村殘碑

毎日晨朝入諸定入諸地獄令離苦無仏世界度衆生今世後

世能引導觀應二年卯月日敬白

西磐井郡日形村下清水、千葉秀三郎氏宅地内。長二尺一分、巾  
一尺。粘板岩。年號は「毎日」云々の三四行の下の方にある。文字縦  
恣行草の間にある。此碑何人かに破碎されたよして、その殘片  
を贈られた、實に惜むべき限りである。

四二 老松村殘碑

文和二年十一月十七日「孝子」敬白

西磐井郡老松村元峠ノ内宮澤。今亡し。

四三 毛越寺鐵燈臺

奉安置平泉觀自在王院池中嶋奉納六十六部妙典塔婆宝  
萬鐵塔鑄立功徳法界衆生速成仏道文和第四玄月上旬鍛  
治久行行祐法師鑄師淨圓金剛覺賢權律師幸賢勸進衆法  
眼定舜金剛覺秀故法印幸海衆徒敬白

西磐井郡平泉村千手院。臺八寸、臺上二尺四寸五分、徑一尺六  
寸五分。文字陽鑄、字體楷行草錯綜、中尊寺鐘と伯仲の間にある。  
平泉志に池中の嶋に此塔一基を建立す……往古は鐵の屋根九  
輪に有りしが、天正年中に失せければ更に石に造れりとある。  
「置自衆剛」幸皆別體の字を用ひてゐる。奥羽觀蹟聞老志「仙臺金  
石志」日本金石志に著録されてゐる。

四 花泉村殘碑

文和二年未<sub>マ</sub>十月十三日施主敬白

西磐井郡花泉村清水。長二尺三分、巾六寸四分。キリクの梵字。

望 六字名號碑

南無阿弥陀佛 延文二年二月廿一日  
見阿弥陀佛覺靈位

二戸郡田山村地藏寺。高四尺五寸、巾一尺四寸、側面の巾は七寸七分より九寸六分。維新前同村小山殿坂といふ山の中腹にあつたもので、左の上部石の剝げてゐるのは、明治四十年頃火災に罹つたものと云ふ。

四 日形村碑

延文二年十一月日敬白

西磐井郡日形村千葉秀三郎氏宅地内。長二尺二寸、巾廣きところ、一尺一寸。梵字はキリク。粘板岩。此碑今弊藏に歸した。

四 廣瀬村碑

延文六年<sub>太</sub>十月二日教子敬白

江刺郡廣瀬村輕石。高九尺、巾四尺五寸、上にキリク。サ・サクの梵字。奥羽觀蹟聞老志<sub>三</sub>仙臺封内風土記<sub>三</sub>封内名蹟志<sub>三</sub>仙臺金石志に著録されてゐる。

四 薄衣村碑

康安二年<sub>王</sub>八月五日敬白

東磐井郡薄衣村役場附近瀧澤龜吉氏宅地内。長二尺五寸、巾七寸より七寸五分。粘板岩。梵字はキリク。康字異體。

四 天台寺鱈口

奉<sub>(外區)</sub>天台寺鱈口<sub>(内區)</sub>大旦那源信行聖賴尊正平十八年大才

矣卯五月二日行定大工威重<sub>(外區)</sub>

二戸郡淨法寺。徑二尺、撞坐徑三寸二分。文字陽鑄。青森縣三戸郡斗賀神社には調子のほゞ同じやうな正平廿一年の鱈口が

ある。

五 老松村碑

康安三年卯癸二月日

西磐井郡老松村元隼ノ内宮澤。長一尺一寸二分、巾四寸五分、厚一寸。いま「癸二月日」の四字は半截されてない。梵字はカ「康」字異體。

五 萩莊村碑

貞治三年三月廿一日

西磐井郡萩莊村下黒澤江川白山堂。高三尺七寸、巾一尺三寸五分、厚約一尺、自然石。梵字は漫漶してよめぬが、或はキリクかも知れない。

五 花泉村碑

重宗貞重 貞治三年四月十九日 施主 敬白

西磐井郡花泉村田東。高三尺五寸、巾二尺、厚六寸。自然石。梵字はウン。

五 黒森神社鐘

敬白尺迦□安泰寺推鐘長一尺八寸口一尺六寸右意趣者

天長地久奉為殊禪寂□法界衆生平等利益故也大旦那

直阿定圓□□結衆志□□勸進□旦那惠心貞治二年巳十

民部大夫源長時事□□□□□□□□□□□□□□□□□□

一月六日

下閉伊郡山口村。銘文にあるやうに小鐘であつたらしい。拓本によるに文字は二區にあつて、池の間は高五寸一分、巾七寸である。書體は行草を交へ、陽鑄で、結體古雅、流水の地を行くやうな感じがする。  
篤焉家訓によれば、一時何人かにもち去られしを、やうやく探し出して、宮古通御官所の藏に入れ置いたが、天保六年三月廿六日晝、宮古浦大半の火災でこの鐘も鉢と共にやき失せた

やうに記してある。一説には鐘は維新の廢佛棄釋のとき、やきすてられたとも傳へられる。

五 神明社 鰐口

敬奉白神明神社御寶前大檀那沙彌王道重同大檀那沙彌王明檀那沙彌光秀稱宜兼屋大正宜安貞治四年乙巳卯月十五日

膽澤郡衣川村。仙臺封内風土記にはたゞ年號だけ記してある。右は同村舊記録にある銘文であるが四年を二十二年としてある。多年の字を用ひてあつたのかもしれぬ。

五 日形村 碑

右意趣者三十三<sup>慈</sup>年<sup>父</sup>故也敬白貞治五年丙午九月十一日孝子

西磐井郡日形村千葉秀三郎氏宅地内。長二尺一寸五分、巾六寸五分、三十三年の右に「慈父」左の二字は「聖靈」であらう。梵字は

グン。

五 薄衣村 碑

清村三十三年貞治五年十一月十八日施主敬白  
東磐井郡薄衣村役場敷地内。長三尺八寸五分、巾七寸より一尺四寸。梵字は何とよむか不明である。

五 金澤村 碑

貞治五  
西磐井郡金澤村大門大門地藏境内。長二尺八寸、巾五寸より七寸三分。梵字はカ。

五 天臺寺 鰐口

貞治六年<sup>丁未</sup>十月三日願主六郎太郎重盛敬白  
二戸郡浄法寺村。明治初年佚亡したよし傳へられる。篤焉家訓には徑一尺とある。銘文は、まぢくで、同書には貞治の上に



「干時」とあり「北奥路程記」には源重盛とある。邦内郷村誌「奥々風土記」にも著録されてゐる。

五 龜ヶ森村碑

貞治七□七月廿五日敬白

稗貫郡龜ヶ森村高橋榮治氏宅地内。高五尺四寸五分、巾三尺五寸。水成岩。上部に大きくキリクの梵字。文字は一尺三寸五分。

六 萩莊村碑

右意趣者为清村大禪定門三十三廻也。應安元年申十月十日

三日孝子敬白

西磐井郡萩莊村下黒澤江川長田墓地。高二尺五寸、巾九寸より一尺一寸、厚一寸五分。梵字はヅン。

六 日形村碑

右志者为三十三<sup>歳</sup>年應安二年六月日

西磐井郡日形村字下清水、千葉秀三郎氏宅地内。長二尺八寸七分、左の二字は見えぬが「聖靈」の二字であらう。上にヅンの梵字。

三 宮古經塚碑

五部大經一石一字雲公成之。永和弟二

下閉伊郡山口村。高八尺、横五尺、文字二尺六寸五分、横三尺二寸、字徑五寸より八寸。上部に徑一尺七寸七分の○刻しあり、文字縦肆宏逸。宋人の遺韻あり。市河寛齋の「金石私志」に「有李北海之風格」とある。「篤焉家訓」に雲公は常安寺の住僧であらうと記してゐる。

三 日形村殘碑

永和三年十一月

西磐井郡日形村字高山屋敷須藤彦治氏所有地。長一尺七寸、巾一尺ばかり。梵字はキリク。畑地より掘出したもの、よしに

て、今數十枚疊々としてつみ重ねられてゐる。中に年號あるもの以下「明徳二」「文安五」「明應三」「明應七」「二枚」「明應十」「永正十七」「大永五」の八枚を探索した。

畚 老 松 村 碑

康曆元年十一月十八日

西磐井郡老松村元峠ノ内宮澤。長一尺九寸五分、巾四寸、厚一寸三分。梵字はサク。

空 老 松 村 碑

康歴二年十月廿五日施主敬白

西磐井郡老松村元峠ノ内宮澤。長二尺五寸、巾八寸五分、厚六寸位。梵字はブン。

突 老 松 村 殘 碑

右志者爲「永徳二」丑年「卯月十二日」孝子敬白

西磐井郡老松村元峠ノ内宮澤。長一尺六寸。孝子敬白は右端年號と月日の間に「右志者爲」の四字。二の下丑とあるも戌の寫しちがひであらうと思はれる。今散佚して亡い。

奄 老 松 村 碑

永徳三年三月廿三日

西磐井郡老松村男澤。長一尺四寸三分、巾六寸、厚二寸五六分。明徳三年のものと、男澤小學校を去る數丁の山手、全提寺趾より大正十三年發掘せられたよしである。上部に「永徳三年三月」と小さく刻しあり。後刻のやうに見える。

穴 小 友 村 碑

永徳二

氣仙郡小友村兩替。長一尺七寸五分、巾七寸より一尺、厚一寸より二寸。戸隠神社のうら手より出たもので、下剝落してゐる。二だけであるが二の左邊が欠けたものであらう。

充金色堂棟札

奉葺皆金色堂一字事藤原禪悟

奉改修造永德第四<sub>子甲</sub>二月廿一日聖人嚴阿弥陀佛右願者爲

大檀那平伊豆守沙弥光清平妙宗女

自清衡基衡秀衡三代草創此方送  
歲霜及三百餘歲然間梁棟傾斜願主  
朽破佛像損依之稚修造少分也殊願主  
致精誠信心末代重持定必大施主并敬白  
女大施主現世者壽福久持當來生安養上刹者也

西磐井郡平泉村中尊寺寶庫。長三尺七寸二分、巾七寸。葺修別體の字を用ひてゐる。

七 八幡神社鰐口

皇帝萬歲奥州津輕中鼻白山寶殿鰐口。伏願身宮安泰悉除衆病壽□綿延<sub>(外區)</sub>嘉慶二年戊辰九月重陽日。施主三枝盛嗣

(内區)

九戸郡葛卷村。徑八寸八分。撞座は素朴な手法で無造作に仕上げられてゐる。

七 老松村碑

嘉慶二年十月十七日

西磐井郡老松村元峠ノ下宮澤。長一尺六寸五分、巾七寸。厚二寸より二寸五分。上の梵字はサ。

七 日形村殘碑

明德二年十一月日得道

西磐井郡日形村字高山屋敷須藤彦治氏所有地。長一尺六寸三分、巾六寸一分。梵字はキリク。石三つに斷たれてゐる。

三 老松村殘碑

禪尼教子爲明德三年三月十六日追善敬白  
西磐井郡老松村男澤。上部斷截五行に記されてゐる。縦七寸に、巾七寸五分、厚二寸五六分。

齒 大宮神社鱈口

奥州岩手郡中野郷大宮鐘願主田村俊宅敬白

應永二年乙酉十二月吉日

岩手郡本宮村。徑一尺一寸、厚四寸。生保内線案内に、院内大藏山千手觀音に應永年中田村俊宅、僧常光坊と共に參詣し、鱈口を奉納した旨記してある。俊宅は京都の人と云ふ、其の傳を詳にしない。

七 黄海村碑

右志者□□□乃至法界利益故也應永七年八月十三日敬白

東磐井郡黄海村御堂ノ澤。長一尺八寸、巾八寸。上に大きくキリクの一字。その下に行五字つゞの梵字二行。銘文は三行に記されてゐる。

六 興田村碑

應永八年七月十七日敬白  
東磐井郡興田村。長一尺九寸、巾八寸。ヴンの梵字。

七 光明寺如來像胎内銘

應永九年壬午十月日中奥之大檀那平滿家住持弘通佛師立  
増坐蓮花作之□□□知護也  
江刺郡岩谷堂町。佛像是肩より下一尺四寸五分。頭はのちに重修したのを、さらに大正十三年心ない佛師の手に粉飾した。上、三行上部九字に重修札をはりつけて見えぬやうにした。この銘のほか、飭宗繁應永十八年辛卯六月日と「永祿二年己未六月一日再興大檀那平重恒住持禪乙佛師壽清願主及尾張守」の追銘あり



るも書體より見て當時のものでない事は明である。舊記によつて記したものであらう。

天臺寺御籤入

天竺靈感觀音籤一百傳聞茲籤於東土占減否頗多靈驗矣仍以唐本膽竹簡而奉捨入于八葉山天台寺只恐布烏焉諸訣之乎右占時者即先誦經咒焚香禮拜泯絕疑情致信心三度取當觀察諸吉凶專二度可用之也應永十六禩卯月八日願主沙門白雲道山白謹

二戸郡淨法寺村。臺は八角形にて高二寸、徑八寸、圓筒六寸八分、徑三寸六分。朱漆にて記してある。三行第七字は唐字、唐段沙彌造象記に見える。五行第一字、同第四字、明でないが右のやうに改めた。願字別體を用ひてゐる。

長根寺木像銘

摩耶經一百三十六部餘分鑄佛應永二十四年太才丁酉八

月十九日入佛二貫三百文也  
下閉伊郡千徳村。高一尺四分の座像で八角の法冠をかぶり右に笏を持つて居る。背面の墨書は虫喰甚しくよく見えぬが寫真丈ではまづ時代の約束にはまるやうに思ふ。

矢越村碑

諸法實相道義禪定門應永廿六年己二月日敬白  
東磐井郡矢越村建昌寺。長二尺三寸五分、巾五寸。巖手叢書には、二月の下に「施主」とあるも、右邊に敬の右半文ある丈である。もと附近の山の墓地にあつたのを同寺にうつされたものによしである。梵字は字畫はあやしいが、カであらう。

六角牛神社鰐口

中澤之郷六角牛山大權現奉掛鰐口一面于時應永三十五年戊申六月一日紀秀宗  
上閉伊郡青笹村。これも同寺記録に銘文を留める丈である。

三 地藏尊板木

文安三年大才丙寅八月一日

西磐井郡平泉村中尊寺寶庫。豎九寸九分、横一尺三寸五分。地藏菩薩像の板木に右方に右の銘文を陰刻してある。

三 日形村碑

是法平等无有高下。右志者道秀禪門三十三孝子。文安五年臘月七日。

西磐井郡日形村字高山屋敷須藤彦治氏所有地。長一尺九寸、巾八寸。右志者は真中にあり。孝子の二字は下部左右に大きく刻してある。文字行草の間にありて尤も雅致饒い。梵字はア。恐粘板岩。同氏より贈られ弊藏に歸した。

四 海雲藏公和尚墓誌

海雲藏公和尚享德二年十月廿七日

氣仙郡高田町金野忠之助氏宅地内。同じ厚さをもつてゐる。長一尺三寸五分、巾四寸四分の自然石である。同氏宅地内より出たもので、白骨の上のせてあつたと云はれる。梵字はア。恐らく本縣唯一の墓志でないかと思はれる。享德四年は七月康正に改元してゐる。

五 圓滿寺鐘

圓滿寺沙彌……應仁二天八月十三日大檀那稗貫城主藤原千夜又丸

稗貫郡花卷町。此鐘の事は「内史略」邦内郷村誌「奥南見聞録」その他に記されてある。延寶年中に八幡寺秀覺和尚が鑄潰したの折、銘文を刻むことを忘れたので、再び鑄たが失敗に歸した。は「時の人諺に前の功德を再び舉せざる故なるべし」云々とある。

瀬川系譜によると、稗貫出羽守廣信の子「應仁二年八月十三日卒去、稗貫郡花卷村圓滿寺へ送葬」とあるが、大檀那とあるよ

り見て、千夜叉丸の寄進なる事に推せられる。系譜に千夜叉丸の歿年のみあつて、道隆・廣行・忠廣の歿年のない事も怪しまれる。或は千夜叉丸の歿年は、この鐘銘からのちに補つたものであらうか。姑く記して後考を俟つ。

六 藥師堂懸佛

奉(外區)造立藥師西岩井郡二堰大旦那平藤幸良坂道慶別當山伏千手大工清正(内區)同本願左彈門大寺マ皆文明十三年八月一日(外區)

西磐井郡花泉村奈良坂養壽寺。徑一尺七分。中に素朴な佛體三つ。二堰は中尊寺文明十六年の順禮札によれば「三堰」である。同村金森前今野幸右衛門氏宅の裏より發掘したものである。「堰」字別體。文字針書。

七 中尊寺順禮札

西國三十三所巡礼奥羽西岩井群マ三堰平朝臣四郎左衛門

尉清泰文明十六年甲辰三月十三日  
西磐井郡平泉村中尊寺經藏。長二尺一寸三分五厘、巾二寸六分五厘、厚四分。奥マより三行に、上の梵字は字畫あやしいが、ウンであらう。木板に刻してある。「堰」字別體。中尊寺大觀ニに著録。

八月山神社棟札

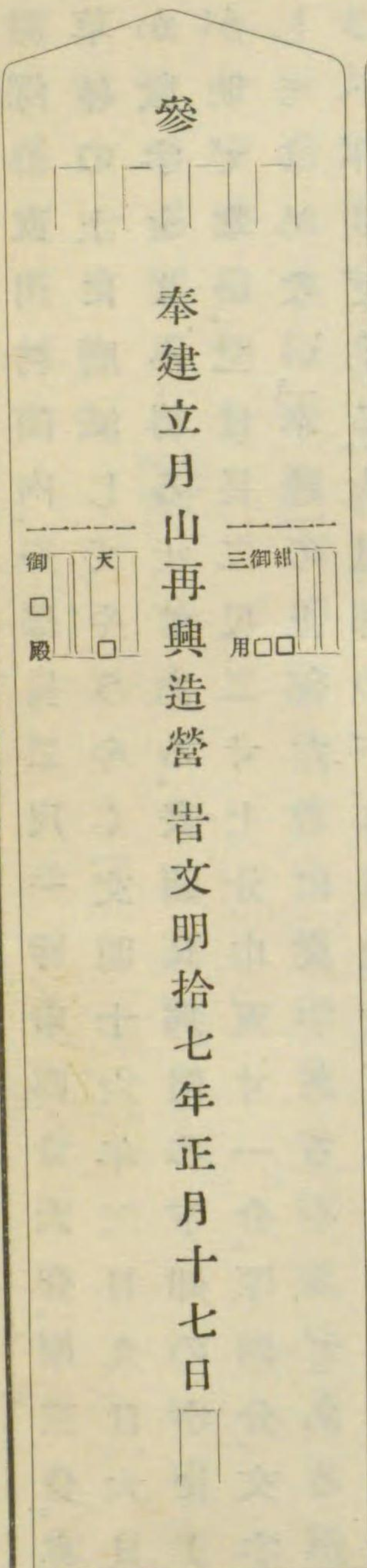
文明十七年正月十七日午時上和

奉建立月山大権現宮旦那田ニフ

全年

大旦那机地殿ニんマるニおマもマひ

二



膽澤郡衣川村河内。一は長二尺一寸、巾四寸六分、厚三分。裏面は草体の上に磨滅して、やうやく「文明十六年二月九日大旦那」ほか數字をよみ得る丈である。表面旦那の下知の字によめるが明でない。二は長二尺二寸七分、巾五寸一分、厚四分。文字磨滅してよめない。「奉建」の上部左右に文字あるやうであるが行數さへ不明である。大旦那の下部は机地殿であらう。

中尊寺巡禮札

坂東三十三所巡禮奥岳西岩井群三堰平朝臣四郎左衛門尉清泰延徳二年壬子五月二十六日  
西磐井郡平泉村中尊寺經藏。長二尺一寸三分五厘、巾二寸六分、厚四分。梵字はウン。木板に刻してある。堰字別體。中尊寺大觀に著録されてゐる。

形村碑

三四五佛妙清禪尼三十三季故明應三天六月廿六日孝子

敬白  
西磐井郡日形村高山屋敷須藤彦治氏所有地。長一尺五寸五分、巾五寸七分。上部缺けてゐる。孝子「敬白」は一行「三天」の下と三行「廿六日」の下に、つゞいて刻まれてゐる。一行の初め「一仏二仏」は截たれてゐる。

黒崎神社懸佛

敬白於于菫田郷黒崎大明神御寶殿一百日之間奉參籠勤  
行次第西錫杖三百五十卷般若心經一千卷觀音經五百五十卷尊勝陀羅尼三百返光明真言十萬返隨永陀羅尼九字文一百万返諸神咒各十萬返禮拜三千五百禮右意趣者奉爲天長地久御願圓滿殊者信心願主仰願依彼報恩現世安穩後生善處無疑令守護給如牛一  
言時明應五年太才丙辰二月十八日願主賢春大旦那源綱繼生年三十一才  
氣仙郡廣田村字大野。徑一尺六寸四分、内方圈内徑一尺三寸



五分、厚一寸の木板、佛像の恣態撲茂妙味申分ないものである。裏面の年號以下は陰刻で、ほかは墨で書かれてゐる。後背の刀痕も大マカで喜ばしい。佛像の頭のうしろに茂五郎とあり。三字目は花押のやうに見ゆるが「郎」の字で作者の名であらう。梵字は妙な結體だが、カであるかも知れない。黒崎「杖」穩「後」恩「且」願「いづれも別體の字を用ひてゐる。仙臺封内風土記」や「氣仙風土草」に著録されてゐるが綱繼を葛西家臣であらうと記してあるのみである。

三 日 形 村 碑

一 一仏二仏三四五仏正久禪門三十三天故明應七天六月廿四日  
二 一佛二佛三四五佛道秀禪門第三季故明應七天七月廿一日  
西磐井郡日形村字高山屋敷須藤彦治氏所有地。一は長一尺九寸、巾一尺四寸五分、二は長二尺二寸、巾一尺二寸。年號はいづ

れも一行「一仏二仏」の下と三行「三四五仏」の下に連続して刻まれてゐる。梵字は字畫繁簡があるが共にキリクであらう。

三 妙見神社棟札

明應七<sup>戊午</sup>六月一日 別當秀睦

奉 妙見御社頭御造榮所 大檀那平宗清 本願□□□□  
奉行末永長<sup>?</sup>金同行<sup>?</sup>筑後守 豊前

かちのゆらひの事馬一疋染物布こん□代二貫文  
はんしやういとまの事四百人作領二十貫ゆはひ代九貫文馬一疋染物

□五十貫文

□□一疋染物一

□こん<sup>?</sup>

東磐井郡興田村字興田保。長二尺六寸九分、巾四寸六分、厚四分、を附せる個所は同寺の記録によつたが、いま消えて面かげだもない。表面上部に大さ五寸六分の不動尊が適勁な筆致で畫かれてゐる。文字も雄強申分ない。記録には奉行の下「春永」とあるが「末永」と讀まれる。別當の下「秀陸」とあるが、二字目がしかと定め難い。裏面のかき出しも「かちのゆはひ」とある。「願」字別體を用ひてゐる。

九四 日形村殘碑

佛明應十天門百年佛今月今日

西磐井郡日形村字高山屋敷須藤彦治氏所有地。上部斷截、右の十四字あるのみである。門の下何かあるやうに見ゆるが明でない、一行三行のはじめは「一佛二佛三四五佛」であらう。六寸五六分四方。粘板岩。今弊藏に歸した。

九五 權現堂棟札

和賀郡谷内村。長三尺八寸六分、巾上七寸二分、下七寸四分、厚六寸。「願」與「兼」字皆別體を用ひてゐる。邦内郷村志に著録してある。

貳種	聖主天中天	大行事	願以此功德	大檀那平信濃守重義
封	伽陵頻迦聲	文殊師利菩薩	普及於一切	次別當源清實
封	哀愍衆生者	普賢菩薩	我等與衆生	同物部源兼實
之中	我等今敬禮	少行事	皆共成佛道	菅大工土佐
				筆者平充政
				永正伍年辰二月廿二日

九六 常膳寺鰐口

皆永正十天西十二月吉日神使七良左衛門(外)大原庄須留澤住大旦那貞秀(内)氣仙郡小友村鳥越。徑八寸。文字針書。もと東磐井郡摺澤村の牛頭天王社のもので、氣仙風土草には大原の上「靈白山」大原庄の下「須留澤住大旦那の下「貞秀」とある。數年前の拓本には、内

區「留」真の二字、かすかに認められたが、今は原物を子細に見ても、全く見る事が出来ない。金石の泯滅如此ものあるを嘆せざるを得ない。「天」字別體に作つてゐる。

七 中尊寺順禮札

西國三十三所順禮四人當笈氣仙郡唐桑左馬充平之久信  
永正十三天八月日

西磐井郡平泉村中尊寺經藏。長一尺九寸三分、巾上五寸六分、下五寸五分、厚四分。文字は陰刻で、下に九曜紋が漆で記されてゐる。梵字はサ。中尊寺大觀に著録されてゐる。氣仙郡の下は異體の字を用ひてゐるが「唐桑」に相違なく、當時氣仙郡に屬して居た事は知られる。

八 東禪寺釋迦像銘

大旦那氏女妙養次沙彌守允住持天的和尚次榮仲法乙康  
林造運慶十三代四々大々手子二人天長地久□□圓滿小

願成就皆令滿。于時永正十四年丁丑十二月初二日敬白  
盛岡市米内。木像高二尺九寸三分、安坐巾二尺八寸五分、蓮座  
高九寸八分、遠野附馬牛より移したもので「右之通三尊之御首  
之裏雖有之、文字不分明、殊大檀那之號、住持之名、佛師共寔知不  
申」と十三代の淮山(龔)が記してゐる。「手子」と見えるは「弟子」「天長  
地久」の下二字の缺字は「御願」であらう。

九 日形村碑

万法一如皆是。大日道□禪門三十三年忌。永正十七年十月  
廿四日

西磐井郡日形村字高山屋敷須藤彦治氏所有地。長一尺五寸  
三分、巾六寸二分。粘板岩。万法一如」と皆是大日は、一行と三行年  
號の上にある。梵字は字畫あやまつて居るやうに見える。大日  
の種子でない。今寒齋に歸した。

一〇〇 妙見神社棟札

封 聖主天中天 大行事帝釋天王 願以此功德 大旦那平朝臣滿親奉加本願中納言  
 迎陵頻伽聲 奉上背 今日戒師弥勒菩薩 文殊師利菩薩 普及於一切 源朝臣清堅奉助成鳥海宗賴 敬 封  
 哀愍衆生者 妙見宮 證誠大梵天王 我等與衆生 皆共成佛道 當別當中納言 當鍛冶和泉守 白  
 封 我等今敬礼 諸行普賢菩薩 戒行事觀世音菩薩

奉寄進田三百疇澁田民親眩 番匠債百二十人  
 奉寄進田百疇 鳥海宗賴 コチウワ年ニニキノマツリヲヘツタウ  
 サクレウ二貫五百文 イタノモノ一ケン 二年好キモ二年□又ソロソノフンニテ  
 ム子ニ一貫五百文 馬一疋又 コンムツ 釘千三百  
 チウナタチニ五百文

東磐井郡興田村字興田保。長二尺四寸七分、巾上四寸八分、下四寸二分、厚四分五厘より五分。裏面の文字は右のやうに見えるが文意が明でない。『因』別體の字を用ひてゐる。『仙臺封内風土記』に著録してある。

二〇二 日形村碑

万法一如皆是大日道。禪門三十三年大永五年五月□日西磐井郡日形村字高山屋敷須藤彦治氏所有地。長一尺九寸五分、巾七寸五分。万法一如と皆是大日は一行と三行の上に、下に年號が刻まれてゐる。梵字はヅンのやうに見える。

二〇三 大長壽院巡禮札

西國三十三所之順礼同道五人當國葛西之住横沢又次郎平廣持太永五年四月日西磐井郡平泉村中尊寺經藏、長二尺一分、巾四寸、厚四分。上に圓形の中にキリク。下に三柏。圓形のほか、いづれも刻してある。『平廣持』は年號の下に『葛』字は異體。中尊寺大觀に著録されてゐる。

二〇四 毘沙門堂順禮札

奉納坂東三十三所順禮敬白奥劬之祐幸大永七歲七月日

二戸郡鳥海村字西方寺。同寺記錄に記されてゐる。

一〇四 五日市文殊順禮札

西國三十三所之順禮享祿<sup>壬辰</sup>五月日代官平之治繼  
上閉伊郡土淵村八戸家傳記抄錄にあるよし、伊能嘉矩氏生  
前示されたものである。棟札の「右方は板裂てなし」とある。「西國」  
の上に、單に「梵字」と記してある。

一〇五 中尊寺順禮札

西國三拾三度順禮結願出羽國犬板目郡長井庄社住道業  
天文二年二月吉日爲行白敬白  
西磐井郡平泉中尊寺經藏。長六寸六分、巾二寸七分。銅板塗金。  
結願の下に蓮座があり、各行の上にキリク・サク・サクの三梵字が  
ある。中尊寺大觀に天文十八年とあるは誤りである。

一〇六 羽黒山神社棟札

聖主天中天 迦陵頻伽聲 番匠迄九十人作料八貫 願主

封

羽黒大菩薩平清重

啓

大檀那南部源朝臣千徳二郎殿 鍛冶廿四人 御調<sup>以上</sup>

封

并小先達平守重

哀愍衆生者 我等今敬礼

天文八年己三月六日

□ □ 觀世音

右筆? □ □ □

所願成就入 □ □

下閉伊郡千徳村。長二尺五寸三分、巾四寸六分、厚約三分。裏面  
上部に梵字四つ(五つ)あるが、上はヴン、下はキリク、中は讀めな  
い。千徳殿のこと「傳疑小録」の閉伊諸士記錄に記されてある。

一〇七 黒森神社棟札

容顏甚奇妙光明照十方我適會供養佛今復還親近

同左衛門督信高且那田鎌伊豆守政光  
大檀那南部右馬充源安信

參封 奉造營閑伊郡黑森山權現

且那小笠原備中守源盛清  
同助三郎

天文拾年六月八日

聖主天中天迦陵頻伽聲哀愍衆生者我等今敬禮 別當一助信重大工左京鍛冶三郎衛門

下閉伊郡千徳村。長三尺四寸八分、巾上六寸、下五寸六分、厚四分。允は「充」に「權」檀「那」守はみな別體の字を用ひてあるが、天文には距離があるやうに思はれる。元和ごろ書き改めたものではなからうか。篤焉家訓「邦内郷村志」に著録されてゐる。このほか「應安五」應永十一「慶長五」の棟札があるが、いづれものちに書き改められたもので、僅に「天正〇七」小笠原成清の九字丈見える棟札の同じ時代のものと推せられるのみである

一〇八 瑠璃光院順禮札

奉順礼百ヶ所奥州葛西住横澤平□□于時天文十一年 刀壬

今日日

西磐井郡平泉村中尊寺經藏。長一尺六寸二分五厘、巾三寸四分、厚二分。木板。上は佛像、觀音であらうか。下部に三柏の紋。文字行草の間にあり、清麗行雲流水の趣ある。住「横」共に右半は缺けてゐる。平の下は越喜來寶珠院と同じく重持であらう。中尊寺大觀に著録されてある。

一〇九 寶珠院巡禮札

奉順礼百ヶ所奥州葛西住横澤平重持于時天文十一年 刀壬  
今日日  
氣仙郡越喜來村。長一尺六寸三分、巾三寸三分。瑠璃光院のものと同じ、蓮座と後背は無地のまゝ、佛像と紋には金箔を入れてある。

一一〇 熊野堂鐘

熊野山常住大旦那平朝臣大守奥州氣仙郡上有住郷于時

寛正六年大歲八月一日

常光寺常住大旦那平朝臣綱時奥州氣仙子時天文貳拾年

亥辛十一月十日

氣仙郡上有住村。元祿頃の記録にはこの堂を熊野山常光寺と云ひ、右の二つの銘があつた旨記してある。天文の追銘あるところから見れば、寛正の鐘を天文に鑄直したやうに思はれる。氣仙風土草によれば、長二尺餘、口徑一尺四寸、八月一日は朔日とある。仙臺封内風土記にも其大略を傳へてゐる。

二 新山神社棟札

聖主天中天

大檀那治部大輔源長行在判

祢宜八幡郎之末

迦陵頻伽聲

奉造立新山權現社頭一字之處也入用

鍛冶形部三郎衛門

哀愍衆生者

我等今敬礼

天文廿三天卯八月十二日入山  
十二月十九日營行畢

大工者平鈴城三郎末孫右京  
脇大工在原之末孫四郎衛門

敬白

九戸郡江刺家村。長二尺二寸七分、巾四寸五分、厚二分。梵字はサ。裏面には、たゞグンの一字。

二 三 月山神社棟札

迦陵頻伽聲

南無文殊師利菩薩

當時祢宜

聖主天中天

本地觀世音菩薩源朝臣南部新四郎政康判

我等今敬礼

南無彌勒菩薩

鍛冶平氏三郎兵衛  
永祿貳年菊月廿九日  
白敬

二戸郡斗米村上斗米。長一尺七寸七分、巾六寸、厚四分。下部左邊火にやけてゐる。菊月廿九日敬白の七字は「寫し棟札」によつて補つた。本地の上に梵字サ。裏面には「是外學」などの文字見える。寶曆十年の追記のやうである。「寫し棟札」の裏面に「寶曆十年辰の正月□□御改年福岡御役所」とある。

二三 中尊寺順禮札

南無阿弥陀佛遊行廿九世佗阿弥陀佛書之永祿三庚申曆孟冬廿九日  
西磐井郡平泉村中尊寺經藏。長二尺七寸四分、巾四寸四分、厚五分五厘。文字墨書してある。

二四 中尊寺蒔繪繪馬

御寶前永祿七年三月廿日木村右兵衛尉景重(花押)  
西磐井郡平泉中尊寺寶庫。竪七寸七分、横九寸九分。馬の姿態も優麗で味多い。慶長の矢作觀音と共に縣内双絶と云へやう。  
中尊寺大觀に著録してある。

二五 中尊寺蒔繪獅子小笥銘

御寶前永祿七年六月吉日木村右兵衛尉景重(花押)  
西磐井郡平泉中尊寺大長壽院。方六寸二分五厘、高二寸。内面に漆書してある。外面の獅子模様雄麗無匹。繪馬と云ひ、この小

笥と云ひ、木村右兵衛尉景重の爲人が偲ばれる。中尊寺大觀に著録してある。

二六 八幡神社胡籙

永祿十一年辰戌八月吉日主三河守  
東磐井郡摺澤村。長一尺五寸、巾五寸。銘文は朱漆にて裏面に記してゐる。一つの蜻蛉と蝶二羽は金色と赤とで書かれてゐる。

二七 權現堂棟札

權現堂

奉上葺

大聖寺

大日本國奥岳和賀郡安俵内種内郷  
奉崇本尊者大聖不動明王尊形也 敬  
大旦那安俵玄番頭平朝臣義重別當  
小原彦衛門源親實依諸人志到成就候早 白  
元龜貳年辛未四月廿八日  
大工及河平内  
小工大澤二郎左衛門



葺萱四百廿五駄繩壹万六千杣取廿人足代五十人ほたかけ廿人葺  
安俵玄番以大工高かや入祝言代物百紙三帖 砂子縫殿助殿より

手以上五百五十人計三舛むかひたんせいの徳藏坊之寄進  
大工祝言棟上代物五百文□□かみ□□ほりこんふたつ  
ぬの上かみ三帖扇一本安俵領中より千かり十駄之かや  
葺大工種内のうち新衛門

和賀郡谷内村。長三尺三寸三分、巾七寸五分、厚五分五厘。奉葺  
異體。邦内郷村志に著録されてゐる。安俵玄番のこと。和賀戦記  
に出てゐる。

二六 神山神社棟札

參大行事

迦陵頻伽聲  
聖主天中天

文殊師利并護國天王

天正五年

丁丑

役人 久藤藤兵衛

奉造榮

本地大慈大悲聖觀音變化新山權現

大檀那源政康

參小行事

哀愍衆生者  
我等今敬礼

彌勒并鎮護八大童子

兼月吉日

祢宜 佐野小太郎

二戸郡御返地村似鳥。長二尺二寸一分、巾四寸五分、厚六分五  
厘。文字雄麗寫經の趣あり。梵字はサ。裏に「江刺縣管轄所、明治四  
年四月十三日御定に相成候」とある。

二九 白山村碑

昔在灵山妙法花  
今在西方名弥陀  
濁世未代名觀音  
三世利益同一躰

入耳

善根山花色句衆生濟渡之風光明通照  
秋月淨即滅無量罪之海口粵奉書寫大乘  
法抱睡萬九千三百八十餘字則數石六万九千  
乃至八十餘石奉願所也偏花陽一公弟三廻證本誓  
故也仰願過去尊靈殊六親父母至一佛乘□臺  
十月廿四日孝子重信 白

膽澤郡白山村白山。長約四尺五寸、巾八寸五分。上部各蓮座の上、圓の中にキリク・サ・サク。天正六年大の下は「才戊」の二字であらう。「衆生」の下二字よくよめぬが「濟渡」としていかゞであらうか。

三〇 月山神社棟札

參大行事聖主天中天 迦陵頻伽聲

□ □ □ □ □ □  
祢宜治部卿

奉封本師大日如來 大檀那源政康中務丞

參小行事哀愍衆生者 我等今敬礼

大工伊与  
鍛治三郎衛門

二戸郡斗米村上斗米。長一尺六寸九分、巾上四寸九分、下五寸、厚三分。梵字は「ン」。裏面には「于時天正六年刀戊九月廿六日」の文字ある。「事」來字異體。ほか「貳はし」「荒……」「小……」「辰の」などの文字見ゆるも「宝曆十□正月二日」と共に追銘と思はれる。「寫し棟札」の

裏面には「天長地久宝曆拾年辰正月二日右者福岡御役所御改年月也」と記してある。

三一 妙見神社棟札

天正六年刀戊

別當中將大工近江河渡之内 鍛治

奉妙見御宮上葺所 大檀那平義重治部少輔

奉行之事 兩檀那平朝臣胤持奥田之源朝臣胤頼住人

鍛治之ゆわひ代也五百文すおうこま馬一疋棟上之□  
斗番匠鍛治小友氏  
板物一まん

番匠之いとまの事二百人しやくりやう二貫釘立五百入棟上一貫五百入

別當二季之祭ヲかくいたし候 以上代物四貫五百文  
釘二千三百布元萬二九  
書之  
奥田之住人隼人

東磐井郡興田村字興田保。長二尺三寸九分、巾上三寸四分、下三寸六分、厚四分五厘。仙臺封内風土記に人名年號たげ著録されてゐる。

三 山谷觀音經筒

奉納經王六十六部十羅刹女奥、易遠野無安三十番神。天正十二年今日。

上閉伊郡小友村。高四寸、筒の底は六角にて徑一寸四分。奉納の上に佛像がある。文祿二年同寺棟札に別當無安坊ある。佛像は或は觀音であるかも知れない。

三三 葛西太守阿娘貞仙順禮札

- 一 奉參詣葛西太守之阿娘貞仙。天正十四年今日吉日。
- 二 奉參詣葛西太守之阿娘貞仙。天正十四年今日吉日。
- 三 奉參詣葛西太守之阿娘貞仙。天正十四年今日。
- 一 は中尊寺經藏、二は同寺寶庫に、三はもと東磐井郡舞草村。

觀音堂にあつたが、明治八年火災で焼失したよしである。一と二は長二尺四寸、巾四寸、厚四分。三は長二尺四寸五分、巾四寸五分、厚三分五厘と記されてゐる。共に木板を金色にてぬりつぶし、赤黒色の漆にて記してゐる。上に三柏配志和神社にもあつたよしだが、今は記録にもなく、迎るよしもない。

三四 志和稻荷神社棟札

封

山川險谷中迦陵頻伽聲大旦那源朝臣志和孫三郎詮直本願當國住

源教藏 敬白

參 奉建立藉荷大明神御寶殿悉地成就之所

封

命命等諸鳥悉聞其音聲小旦那平朝臣築田中務少輔詮泰大工出羽住監物悉天正十六年戊子五月廿八日

紫波郡水分村舛澤。長三尺四寸一分、巾四寸九分、厚五分。參字異體、參の下にヅンの梵字がある。この棟札は詮直が斯波の地を亡命した三月前のものである。

一五 矢作觀音寺繪馬  
奉納繪馬所願成就慶長七年壬戌六月十七日糟谷出雲守延元

氣仙郡矢作村下矢作。縱一尺三寸三分、巾一尺九寸五分。漆にてぬつた上を金箔にて畫いてある。仕丁馬を引き、うしろより童子、馬の背のところに天蓋をかざしてゐる。天蓋の下にサの梵字が畫かれてゐる。觀音寺は慶長九年六月の開刹なれば、この繪馬は或はいつれのものか、觀音寺に傳はつたものかも知れない。

一六 天臺寺鐵鉢

于時皆慶長八年癸卯□□□□二百八□□□□□□□□  
二戸郡淨法寺村。徑一尺六寸七分、高八寸一分、足徑底にて一寸一分。十行にて、一行二字又は三字、左文陽鑄。朴拙の文字僅に

右の十二字を讀むに止る。

一七 矢作村碑

慶長十二年丁未□□四月七日敬白  
氣仙郡矢作村。雪澤部落より金山への登り口約一町位の道路傍にあり。もと山の上にあつたよし、一僧が山中にて突然死んだので、土民あはれんでこの碑をたてたと傳へられる。高四尺六寸。梵字は真中の上に、文字は左の方に一行に記してある。四月の上壬の字のやうに見える。

一八 盛岡上ノ橋擬寶珠銘

慶長十四酉巳年十月吉日中津川上之橋源朝臣利直  
盛岡市。長二尺四寸、胴廻り二尺八寸。  
寛永年中大洪水あり、擬寶珠流れ仙臺領迄尋ねた記事は、内史略篤馬家訓に見えてゐる。享和元年六月二十日にも又大洪水にて押流された旨篤馬家訓に記されてゐる。そのためか、十

八の中(一)六つ丈は當時のもの(二)四つはその次(三)八つは尤もをくれて出来たものゝやうに推せられる。一はイ瑕あと多くロ「己酉」の二字せまり、ハ文字古拙である。二はイ「己酉」の二字斜めで「酉」字楷書に近い。ロ「直」字直に作つてゐる(他は直ハ文字は三よりやゝ太めである。三イ「己酉」の二字横に離れて平行になつてゐる。ロ「年」字年に作る。ハ文字細く刻してある。

三九 盛岡下ノ橋擬寶珠銘

慶長十六辛亥年八月吉日中津川中之橋源朝臣利直盛岡市もと中ノ橋のものにて左右二十のうち二つを市内四ツ家元祿七年地藏尊の前に据ゑた。長二尺八分、胴圍り二尺八寸四分。この橋の擬寶珠も(一)十丈は當時のもの(内一は四ツ家(二)四つはその次(三)六つ丈(内一は四ツ家は尤もをくれて出来たやうに推せられる。一はイ瑕あと多くロ「己酉」の位置「八月吉日」と「中津川中之橋」の間にある。座金にて「吉日」中之橋の文字かくれてゐる(中、銚の位置「中津川中之橋」と「源朝臣」の間にある。

るもの三本あり四一本はハ文字左に傾いてゐる。二はイ瑕あと多くロ「己酉」の位置一と同じくハ「臣」字「臣」に作つてゐる。三イ「銚」の位置銘文の外にあり、ロ瑕あと少くハ文字堅く細めにて字劃を省いてゐる。その他「年」字もそれゝ相違してゐるが、略以上に判定し得られやう。

下の橋にも擬寶珠ある説とない説とがある。中津川度々洪水にて橋落ち、それがために中止されたといふ記事と、洪水に流れ「一二株車御門の上に有」と云ふ記事が、共に「内史略」と「奥南餘録」にある。其の眞否を知らない。

擬寶珠の由來については、「春霞」の歌の古事が偲ばれる。

三〇 黄海村碑

本ミやういうちへくろ政さつまきやくしう□□小きの  
 ミさうあつかい山城住人うち□□立之于時慶長十七年  
 壬子五月吉日逆修□□  
 東磐井郡黄海村玉崎高五尺二寸、巾三尺余。梵字は上に大き

くキリク。左右にサク・サ、その下にアと蓮座がある。

二三 教淨寺棟札

教淨寺大檀那中興開基南部信濃守利直并本尊惠心僧都製所被寄附也

南無阿彌陀佛

願者遊行三十二代佗阿彌陀佛與立造事申預野田内匠頭直盛

于時慶長第十七壬子年七月十六日二利圓滿(花押)

住持聖元隅局彌阿彌陀佛

盛岡市米内。長三尺五寸五分、巾六寸七分、厚七分。漆でぬつた板に刻したもので、上に巴の紋、名號と巴は金、ほかは朱を入れ

二三 中尊寺順札

南無阿彌陀佛慶長弟十七壬子年九月十二日遊行三十二代

西磐井郡平泉。長三尺一寸五分、巾五寸五分、厚四分より五分。銘文墨書。

二三 諏訪神社鱧口

諏訪大明神慶長十八歲甲丑三月三日

上鹿妻村朴木村上右京之進(表)

岩手郡太田村上鹿妻。面徑四寸二分、撞座徑一寸二分、厚一寸(裏)

一分。御領分社堂に著録されてゐる。

「甲丑」と見ゆるも「癸丑」のあやまりであらう。

一三 白山神社棟札

日天王 春日大明神守護所 慶長廿年乙卯三月十五日 敬

奉願白山妙梨大權現村上味尊忠義甲斐武田先祖源義沢

月天王 是本地十一面觀音 此所之旦那息災延命 白

源義沢左馬之助 慶長廿年之春  
此之御本尊之下給之

勝叶

下閉伊郡磯鷄村八木澤。長二尺八寸五分、巾四寸二分、厚三分五厘。「源」は「弥」に見ゆるが源であらう。表面の上にキリク・サ・サクの梵字がある。

岩手縣金石志

昭和七年十一月九日印刷  
昭和七年十一月十二日發行

二百部印行

楓園藏版

編者兼  
發行者

盛岡市内加賀野小路九番地  
太田孝太郎

印刷者

盛岡市六日町百二十三番地  
工藤橋助

印刷所

盛岡市六日町百二十三番地  
富士屋印刷所

發行所

盛岡市内丸  
株式會社岩手日報社

不許複製





D25

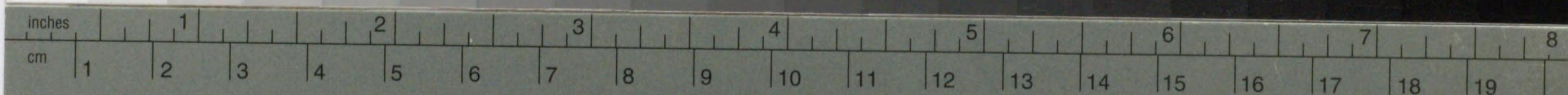


# Kodak Gray Scale



© Kodak, 2007 TM: Kodak

**A** 1 2 3 4 5 6 **M** 8 9 10 11 12 13 14 15 **B** 17 18 19



# Kodak Color Control Patches

© Kodak, 2007 TM: Kodak

Blue Cyan Green Yellow Red Magenta White 3/Color Black

